

令和4年度第1回神奈川県食の安全・安心審議会

●資料1 「かながわ食の安全・安心行動計画（令和3年度）実施結果」について

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課						
1	P2 ア 農薬の適正使用の推進（農業振興課） ○ 農薬販売者に対し、立入検査を実施しました。 【農薬販売者への立入検査】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>204件【200件】</td> <td>53件*【200件】</td> <td>200件【200件】</td> </tr> </table> * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため立入検査を制限 ◆ 違反業者数 39件	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	204件【200件】	53件*【200件】	200件【200件】	国立大学法人 東京海洋大学	木村 凡	農薬販売者に対して立ち入り検査の結果、39件の違反業者が報告されています。違反業者数が多いと感じられますが、具体的な違反の内訳どのような内容でしょうか。	違反業者数39件について精査したところ、その内容は業務の廃止届の提出忘れや、店舗内掲示にかかる軽易なミスなどであり、必要な指導はしていますが、例年、違反業者として計上していないものを誤って記載したことが判明しましたので、違反業者数を0件に修正します。	農業振興課
		2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】								
204件【200件】	53件*【200件】	200件【200件】										
相模女子大学	下島 優香子	農薬販売者への立入検査で、違反業者数が39件とあります。過去3年は0件であり、気になります。どのような違反があり、どのような措置が取られたのでしょうか。	農業振興課									
2	P2 ア 動物用医薬品、飼料の適正使用の推進（畜産課） ○ 畜産農家等に対し、動物用医薬品・飼料等の適正使用を指導しました。 【薬剤耐性菌発現状況調査】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>8件【5件】</td> <td>4件【3件】</td> <td>5件【3件】</td> </tr> </table>	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	8件【5件】	4件【3件】	5件【3件】	相模女子大学	下島 優香子	〔薬剤耐性菌発現状況調査〕につきまして、この調査についてはどこかに公表されていますでしょうか。試料はふん便でしょうか。この結果は農家に還元されたことと思いますが、その結果を受けて、農家が取り組んだ薬剤耐性菌対策などはありましたでしょうか。	本調査は農林水産省動物医薬品検査所が主体となった全国的な調査です。全国の調査結果は動物医薬品検査所ホームページ等で順次公表されています。令和3年度に本県で調査した検体は、全て乳用牛の乳汁です。とりまとめられた調査結果を基に、畜産農家では抗菌剤の慎重使用に取り組んでいます。	畜産課
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】										
8件【5件】	4件【3件】	5件【3件】										
3	P3 イ 家畜の衛生検査（畜産課） ○ 豚熱（CSF）の浸潤状況を確認するため、全農場の立入検査による臨床検査及び抗体保有状況調査を実施しました。 ◆ 抗体保有状況調査：7,252頭実施 【アクセス数】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績</td> <td>令和2年度実績</td> <td>令和3年度実績</td> </tr> <tr> <td>1,022件</td> <td>31,435件</td> <td>39,831件</td> </tr> </table>	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	1,022件	31,435件	39,831件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	豚熱（CSF）の抗体保有状況について、他の調査等のアクセス数に比べてこの3年でかなり増えていますが、関係者や県民の注目度が急に上がるような特別な状況があったのでしょうか。	2019年12月に本県で豚熱のワクチン接種が開始されたことにより、本県の豚熱対策について関心が高まりはじめ、令和2年5月に県内で初めて野生いのししの豚熱感染が確認されたことにより、一層関係者の注目度が上がったと考えます。また、令和3年7月には本県の豚飼養農場で豚熱が発生したことを受け、アクセス数がさらに増加したと考えられます。	畜産課
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績										
1,022件	31,435件	39,831件										
4	P4 ウ 貝毒原因プランクトンのモニタリング及び貝毒検査（水産課） ○ 県のウェブサイトにおいて、貝毒原因プランクトンのモニタリング及び貝毒検査の結果を公開しました。 ◆ 内容 ・貝毒原因プランクトンのモニタリング結果 ・貝毒検査結果 【アクセス数】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績</td> <td>令和2年度実績</td> <td>令和3年度実績</td> </tr> <tr> <td>6,682件</td> <td>7,114件</td> <td>7,788件</td> </tr> </table>	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	6,682件	7,114件	7,788件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	貝毒原因プランクトンのモニタリングについて、他の調査等のアクセス数に比べてこの3年でかなり増えていますが、関係者や県民の注目度が急に上がるような特別な状況があったのでしょうか。	貝毒安全対策に係るホームページのアクセス増の要因については不明です。 なお、本県においては、貝毒安全対策実施要領に基づき貝毒原因のモニタリング及び貝毒検査を実施していますが、当該期間において関係者や県民からの注目度が上がるような事案については心当たりがありません。	水産課
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績										
6,682件	7,114件	7,788件										
5	P5 ア 農場HACCPに係る指導員等の育成（畜産課） ○ 国等が開催する農場HACCPに係る指導員等の養成研修会に県の職員を派遣しました。 【養成研修会参加者数】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>10人【3人】</td> <td>8人【3人】</td> <td>11人【3人】</td> </tr> </table>	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	10人【3人】	8人【3人】	11人【3人】	特定非営利活動法人 神奈川県消費者の会 連絡会	矢野 裕美	現在、神奈川県では、畜産農家数が増えず、必然的に畜産業が活性化しておらず、行政のてこ入れが必要な分野の一つだと思いますが、3年連続で養成研修会参加者数が計画を大きく上回っている現状を大いに評価します。このため、計画数を5人に上げ、これをひとつのきっかけとして人材育成に努めることを希望します。	在籍する多くの職員が農場HACCPの指導員及び審査員の養成研修会を受講することができました。今後も新規採用職員等、積極的に人材育成に努めてまいります。	畜産課
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】										
10人【3人】	8人【3人】	11人【3人】										

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課																		
6	<p>P6 ア 交雑等の防止の推進（農政課） ○ 遺伝子組換え作物の栽培や計画の届出等に関する情報をホームページ「遺伝子組換え作物の栽培について」を利用し、農業者等へ分かりやすく提供することにより、交雑等の防止の推進を図りました。 〔ホームページを用いた情報提供〕</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">〔アクセス数〕</td> </tr> <tr> <td>2019年度実績</td> <td>令和2年度実績</td> <td>令和3年度実績</td> </tr> <tr> <td>5,484件</td> <td>8,546件</td> <td>8,716件</td> </tr> </table>	〔アクセス数〕			2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	5,484件	8,546件	8,716件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	<p>遺伝子組換え作物関係の届出等について、他の調査等のアクセス数に比べてこの3年でかなり増えていますが、関係者や県民の注目度が急に上がるような特別な状況があったのでしょうか。</p>	<p>アクセス数が増加した要因としては、①令和2年に初めてゲノム編集技術応用食品（GABA高蓄積トマト）が届出され、令和3年には同トマトの一般販売が開始し、新聞やニュースなどでメディアで多く取り上げられたこと、②令和3年度に神奈川県遺伝子組換え作物交雑等防止条例施行規則の一部改正を行った際に、パブリックコメント等でホームページを周知したこと、が考えられます。</p>	農政課									
〔アクセス数〕																								
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																						
5,484件	8,546件	8,716件																						
7	<p>P7 ア 衛生管理等の促進（生活衛生課） ○ 食品営業者等に対し、HACCPに沿った衛生管理について指導を行い、施設の衛生管理及び食品又は添加物の取扱い等に関する衛生管理計画の作成、記録等に係る助言を行いました。</p>	公募委員	萩原 正	<p>食品営業者等に対するHACCPに沿った衛生管理について、衛生管理計画の作成・記録等に係る助言を行ったとあります。コロナ禍で滞りがちだった飲食店事業者や小規模事業者への周知や指導を加速化するために、より具体的な目標やゴールを以って取り組んで行くことが重要と考えます。</p>	<p>食品営業者等に対する監視指導は、かながわ食の安全・安心行動計画に基づき実施しています。 ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、立入検査の実施が難しい状況ではありますが、取扱い食品の危害度、施設の規模等を考慮して、効率的かつ効果的な監視指導を実施してまいります。</p>	生活衛生課																		
8	<p>P8 ウ 教職員等対象の研修講座開催（保健体育課） ○ 学校給食における食中毒の発生等の健康危害を防止するため、衛生管理について、校長、教諭、栄養教諭・学校栄養職員、調理員等を対象に研修講座、会議を開催しました。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">〔校長、教諭、栄養教諭・学校栄養職員等研修講座等〕</td> </tr> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>8回【8回】</td> <td>8回【8回】</td> <td>8回【8回】※</td> </tr> </table> <p>※ 事業移管により令和3年度から総合教育センター主管で実施</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">〔調理員研修講座・学校給食関係者会議等〕</td> </tr> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>3回【3回】</td> <td>2回*【3回】</td> <td>3回【3回】</td> </tr> </table> <p>* 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため一部中止</p>	〔校長、教諭、栄養教諭・学校栄養職員等研修講座等〕			2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	8回【8回】	8回【8回】	8回【8回】※	〔調理員研修講座・学校給食関係者会議等〕			2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	3回【3回】	2回*【3回】	3回【3回】	鎌倉女子大学	吉田 啓子	<p>学校給食における衛生管理に関する研修講座、会議等でHACCPに沿った衛生管理等と関係する内容について、具体的に扱っている内容があれば教えてください。</p>	<p>管理職を対象とした「食に関する指導研修講座」や、学校栄養職員を対象とした「学校栄養職員研修講座」、学校給食関係者の会議では、生活衛生課職員を講師として、食品衛生法の改正の概要と併せて、学校を含めた食品営業者等にHACCPによる衛生管理が完全義務化となっていることを周知しました。 また、調理員を対象とした「学校給食調理員研修講座」では、講師より、学校給食衛生管理基準はHACCPの考え方に基づいていることや、法改正により新たな認識のもとHACCPによる衛生管理を推進していく必要があること、加熱・冷却の温度管理（CCP）、HACCPと一般衛生管理の重要性等についてお話しいただきました。</p>	保健体育課
〔校長、教諭、栄養教諭・学校栄養職員等研修講座等〕																								
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																						
8回【8回】	8回【8回】	8回【8回】※																						
〔調理員研修講座・学校給食関係者会議等〕																								
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																						
3回【3回】	2回*【3回】	3回【3回】																						
9		公募委員	萩原 正	<p>公立学校の自主管理の促進に関し、教職員等対象の研修講座を開催とありますが、担当課の垣根を超えた HACCP に沿った衛生管理の点検や浸透が期待されます。</p>	<p>学校給食施設に対する監視指導は、各保健福祉事務所等と各市町村の学校給食担当部局が連携し、かながわ食の安全・安心行動計画に基づき実施しています。 また、保健体育課が開催する研修等に講師として協力し、HACCPに沿った衛生管理等について、学校給食関係者へ周知を図っています。</p>	生活衛生課																		

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課																											
10	<p>P10 ア 食肉の検査（生活衛生課） ○ と畜場に搬入されたすべての家畜について、と畜検査を実施しました。 ◆ 検査頭数 450,058頭 ◆ 内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>牛</th> <th>馬</th> <th>豚</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検査頭数</td> <td>3,975</td> <td>0</td> <td>446,083</td> <td>450,058</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">検査結果に基づく措置</td> <td>全部合格</td> <td>277</td> <td>0</td> <td>525</td> </tr> <tr> <td>とさつ禁止</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>全部廃棄</td> <td>92</td> <td>0</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>一部廃棄</td> <td>3,606</td> <td>0</td> <td>445,716</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ 検査結果に基づく措置内容及び病名 全部廃棄 敗血症、牛伝染性リンパ腫、膿毒症、全身性腫瘍など 一部廃棄 炎症、変性、水腫など</p>		牛	馬	豚	合計	検査頭数	3,975	0	446,083	450,058	検査結果に基づく措置	全部合格	277	0	525	とさつ禁止	0	0	5	全部廃棄	92	0	206	一部廃棄	3,606	0	445,716	神奈川県消費者団体連絡会	柿本 章子	と畜場における衛生検査について、全部廃棄・一部廃棄の数・病名など例年（2019年度実績・令和2年度実績について）との差異などがあれば、お教えてください。	食肉の検査における2019年度及び令和2年度実施結果について、と畜検査頭数に占める全部廃棄又は一部廃棄の数に変動はなく、廃棄となった病名についても例年と差異はありませんでした。	生活衛生課
	牛	馬	豚	合計																													
検査頭数	3,975	0	446,083	450,058																													
検査結果に基づく措置	全部合格	277	0	525																													
	とさつ禁止	0	0	5																													
	全部廃棄	92	0	206																													
	一部廃棄	3,606	0	445,716																													
11	<p>P11 ア 食品等の検査（生活衛生課） ○ 流通している食品の抜き取り検査を実施しました。</p> <p>〔流通食品の抜き取り検査（輸入食品含む）〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績【計画】</th> <th>令和2年度実績【計画】</th> <th>令和3年度実績【計画】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,053 検体【4,052 検体】</td> <td>2,489 検体*【3,898 検体】</td> <td>1,456 検体*【2,935 検体】</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止</p> <p>◆ 違反検体数 1件 違反内容 食品衛生法第13条第3項違反 措置内容 他自治体通報</p> <p>P19 ○ 食品等の抜き取り検査により発見した違反食品に係る調査結果及び措置状況並びに食中毒の発生情報をホームページ等で公表しました。</p> <p>〔アクセス数〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,327 件</td> <td>6,853 件</td> <td>4,053 件</td> </tr> </tbody> </table>	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	4,053 検体【4,052 検体】	2,489 検体*【3,898 検体】	1,456 検体*【2,935 検体】	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	6,327 件	6,853 件	4,053 件	相模女子大学	下島 優香子	流通食品の抜き取り検査で違反検体が1件とあります。この内容はどのようなものでしたでしょうか。 また、ホームページで公表とありますが、2週間経過後閲覧できる場所や集計された資料はありますか。	流通食品の抜き取り検査について、令和4年1月に検査を行った春菊から残留農薬（フェニトロチオン）を0.05ppm（基準値0.01ppm）検出しました。そのため、通報先である生産地の千葉県が指導を行いました。 ホームページでの公表について、本県が営業者等に行政処分等を行った場合は営業者名等を14日間公表していますが、本件の対応は千葉県が行ったため、当該ページでの公表はしていません。 なお、食品等の検査内訳（検査数、違反数等）については、5年間分の結果を「食品等の検査結果」のページに掲載しています。	生活衛生課															
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																															
4,053 検体【4,052 検体】	2,489 検体*【3,898 検体】	1,456 検体*【2,935 検体】																															
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																															
6,327 件	6,853 件	4,053 件																															

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課																		
12	<p>P12 ウ いわゆる健康食品の検査（薬務課） ○ 医薬類似品等の実態の把握及び監視指導のため、いわゆる健康食品の買上げ検査等を実施しました。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">【いわゆる健康食品の買上げ検査】</td> </tr> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>30検体【30検体】</td> <td>30検体【30検体】</td> <td>0検体*【20検体】</td> </tr> </table> <p>* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>ア 加工食品等の放射性物質検査（生活衛生課） ○ 県内に流通する加工食品等について放射性物質の抜き取り検査を行いました。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">【加工食品等の放射性物質検査（再掲）】</td> </tr> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>112検体【112検体】</td> <td>48検体*【104検体】</td> <td>40検体*【70検体】</td> </tr> </table> <p>* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止</p> <p>◆ 違反検体数 0件</p>	【いわゆる健康食品の買上げ検査】			2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	30検体【30検体】	30検体【30検体】	0検体*【20検体】	【加工食品等の放射性物質検査（再掲）】			2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	112検体【112検体】	48検体*【104検体】	40検体*【70検体】	国立大学法人 東京海洋大学	木村 凡	<p>いわゆる健康食品の買上げ検査、加工食品などの放射性物質の抜取検査、県内に流通する輸入食品の抜取検査などが、計画よりも検体数が少なかった理由として、新型コロナウイルス感染防止の為となっています。</p> <p>特に、いわゆる健康食品の買上げ検査が0検体となっています。このような買上げ検査は、店頭販売の買上げでしょうか。通信販売の買上げでしょうか。いずれにしても、講習会やセミナーなどと異なり、このような買上げ検査がコロナ感染防止対策の影響を受けるのが少しわかりにくいと感じました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行による全庁的な業務見直しに伴い、健康食品の買上げ検査については中止を決定しました。なお、平成27年度以降は通信販売（インターネット）による買上げを行っていました。「* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止」の記載については、説明の不足している記載ですので、今後はわかりやすい資料作成に取り組みます。（薬務課）</p> <p>食品検査が計画よりも少なかった理由について、県は新型コロナウイルス感染症対策を最優先とする対応をしていたこと、感染拡大のリスクを減じるため販売店等に出向く回数を減らしたこと等が要因です。なお、今年度の実施結果とりまとめの際は、ご意見のとおり、分かりやすい表現に努めます。（生活衛生課）</p>	薬務課 生活衛生課
【いわゆる健康食品の買上げ検査】																								
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																						
30検体【30検体】	30検体【30検体】	0検体*【20検体】																						
【加工食品等の放射性物質検査（再掲）】																								
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																						
112検体【112検体】	48検体*【104検体】	40検体*【70検体】																						
13	<p>P13 ウ 輸入食品の抜き取り検査（生活衛生課） ○ 県内に流通する輸入食品の抜き取り検査を行い、残留農薬、カビ毒、食品添加物、細菌検査等の試験検査を実施し、安全性を確保しました。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">【輸入食品の抜き取り検査（流通食品等の抜き取り検査の再掲）】</td> </tr> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>673検体【653検体】</td> <td>462検体*【658検体】</td> <td>458検体*【639検体】</td> </tr> </table> <p>* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止</p> <p>◆ 違反検体数 0件（再掲）</p>	【輸入食品の抜き取り検査（流通食品等の抜き取り検査の再掲）】			2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	673検体【653検体】	462検体*【658検体】	458検体*【639検体】	鎌倉女子大学	吉田 啓子	<p>いわゆる健康食品の検査について、令和3年度実績が0検体となっていますが、令和2年度はコロナ禍の状況でも30検体実施されているのに対して、令和3年度が実施できなくなった理由をお教えてください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行による全庁的な業務見直しに伴い、健康食品の買上げ検査については中止を決定しました。</p>	薬務課									
【輸入食品の抜き取り検査（流通食品等の抜き取り検査の再掲）】																								
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																						
673検体【653検体】	462検体*【658検体】	458検体*【639検体】																						
14	<p>◆ 違反検体数 0件（再掲）</p>	神奈川県農業協同組合中央会	由良 竜一	<p>「ウ いわゆる健康食品の検査」については、令和3年度実績が0検体となっており、説明に記載の「いわゆる健康食品の買上げ検査等を実施しました。」と整合が取れていない印象があります。「検査等」の「等」に他に対応された内容があれば、わかるように実績を記載頂きますようお願いいたします。</p>	<p>御指摘のとおり、実績との整合性に欠ける記載ですので、今後はわかりやすい資料作成に取り組みます。</p>	薬務課																		
15	<p>P14 ア 食品衛生監視員研修（生活衛生課） ○ 高度な食品衛生監視業務に対応できる食品衛生監視員を育成する研修を実施しました。</p>	公募委員	萩原 正	<p>食品衛生監視員等に対する研修を実施したとありますが、全国的にはコロナ禍で監視側のHACCP 制度化の理解や監視実務の研修が遅れ気味と聞きます。より具体的な目標やゴールを以って取り組んで行くことも必要と考えます。</p>	<p>食品衛生監視員研修について、令和3年度はZoomを活用したオンライン研修や人数を制限した集合研修を実施しました。また、厚生労働省や関係機関が行政向けに開催したオンライン研修等に積極的に参加し、人材育成に努めてまいります。</p>	生活衛生課																		

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課									
16	<p>P14 ア 先行調査、モニタリング調査（生活衛生課） ○ 食品衛生法に基準が定められていない化学物質、細菌等について実態調査を実施し、データの収集等を図りました。県ホームページ「食品等の検査結果」の「食の安全検査情報」の巻末をご覧ください。（ホームページには取りまとめ後に掲載）</p> <p>◆ 内容 ・加熱せずに喫食される可能性のある乾燥食材の汚染実態調査など</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">【アクセス数】</th> </tr> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> <tr> <td>6,036件</td> <td>5,464件</td> <td>1,923件</td> </tr> </table>	【アクセス数】			2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	6,036件	5,464件	1,923件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	<p>食の安全・安心に関する調査研究の先行調査、モニタリング調査については、アクセス数が顕著に減少しています。単に関心が薄れたのか、ホームページでの閲覧がしにくくなった等、原因があればお教えください。</p>	<p>当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取組みを進めてまいります。</p>	生活衛生課
【アクセス数】															
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績													
6,036件	5,464件	1,923件													
17	<p>P15 イ と畜場における調査研究（生活衛生課） ○ 食肉の安全性を確保するため、家畜の疾病や食肉・食鳥肉に関する調査研究を実施しました。</p> <p>◆ 内容 ・4種の異なる腫瘍を併発した牛の1例 ・食肉中のエンロフロキサシン及びシプロフロキサシン試験法における確認（定性）試験方法の検討 ・病理検査データベースの構築及びと畜検査への利活用 ・牛の食道近傍の腫瘍など</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">【アクセス数】</th> </tr> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> <tr> <td>793件</td> <td>1,071件</td> <td>1,944件</td> </tr> </table>	【アクセス数】			2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	793件	1,071件	1,944件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	<p>と畜場における調査研究に関する情報について、他の調査等のアクセス数に比べてこの3年でもかなり増えていますが、関係者や県民の注目度が急に上がるような特別な状況があったのでしょうか。</p>	<p>コロナ禍以前は親子講座、獣医科系大学の学生への見学会等を開催していましたので、来所希望者が食肉衛生検査所のホームページを閲覧した際に、当該ページにもアクセスした可能性が考えられます。また、と畜場である神奈川食肉センターのホームページにリンクを貼付したことも影響していると思われます。</p>	生活衛生課
【アクセス数】															
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績													
793件	1,071件	1,944件													
18	<p>P15 8 食品表示の適正の確保の推進（全般）</p>	公募委員	山口 重久	<p>実施結果の「8. 食品表示の適正の確保の推進」ですが、「食品表示」は、消費者が商品や医薬品等を直接手にして、初めて認識するということを踏まえると、「食品表示の適正の確保」は、今後も極めて重要であると考えます。この事項は、「第5次・かながわ食の安全・安心の確保の推進に関する指針」並びに「かながわ食の安全・安心行動計画（令和4年度版）」でも、取り上げられており、特に、上記指針では、今後3年間での重点的取組みとなっています。</p> <p>本年3月30日に消費者庁が、食品添加物の不使用表示について、「食品添加物の不使用に関するガイドライン」を公表し、今後2年程度（令和6年3月末）の間に関連事業者が本ガイドラインを用いて、速やかに表示の点検を行い、必要に応じて容器包装の切り替えを行うことを求めています。</p> <p>そこで、今後の取り組みの中で、本ガイドラインの実施状況をチェックする予定はあるのでしょうか。個別具体的な予定等は未定かと思いますが、回答可能な範囲でご教授願います。</p>	<p>食品表示については、ホームページ等で周知をするとともに、かながわ食の安全・安心行動計画に基づき対応していますので、適宜、監視指導等において状況を確認してまいります。</p> <p>なお、同ガイドラインについては、9月5日に開催した食品表示セミナーにおいて取り上げました。</p>	生活衛生課									

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課									
19	P16 エ 米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律（米トレーサビリティー法）に基づく指導【重点的取組み】（農業振興課） ○ 米や米加工品の取引等に係る記録の作成・保存、取引先や消費者への産地情報伝達が適正に行われることを推進するため、県民及び関係機関等からの相談等に対応しました。	神奈川県農業協同組合中央会	由良 竜一	「エ 米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律（米トレーサビリティー法）に基づく指導については、【重点的取組み】とありますが、他の項目で報告されているような実績（件数や内容等）について記載がされていないので、こちらの項目についても実績を記載頂きますようお願いいたします。	農林水産省から、2019年度に1件、令和2年度に1件、米トレーサビリティー法に係る通報がありました。違反はなく、指導事項はありませんでした。そのため、他の項目で報告されているような実績（件数や内容等）について記載していません。	農業振興課									
20		公募委員	眞鍋 邦子	牛肉やお米などはトレーサビリティーが導入されていると認識していますが、野菜にも導入したらどうでしょうか。	野菜のトレーサビリティーについては、事業者が自主的に食品の生産情報（生産者、生産地、農薬及び肥料の使用情報など）を消費者に正確に伝えていることを第三者機関が認定する「生産情報公表JAS規格」がありますので、現時点ではこれで対応できているものと考えております。	農業振興課									
21	P17 ケ 食品表示に関する情報発信【重点的取組み】（全庁的取組み） ○ 食品表示セミナーに関するホームページを新たに作成しました。（令和3年2月公開） 【アクセス数】 <table border="1"> <tr> <td>令和2年度実績</td> <td>令和3年度実績</td> </tr> <tr> <td>3,759件</td> <td>1,714件</td> </tr> </table>	令和2年度実績	令和3年度実績	3,759件	1,714件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	食品表示に関する情報については、アクセス数が顕著に減少しています。単に関心が薄れたのか、ホームページでの閲覧がしにくくなった等、原因があればお教えください。	当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取組みを進めてまいります。	生活衛生課					
令和2年度実績	令和3年度実績														
3,759件	1,714件														
22	P18 ア かながわ食の安全・安心基礎講座等の開催【重点的取組み】（全庁的取組み） 【大学生等を対象とした食の安全・安心ラボの開催】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>2回【2回】</td> <td>0回*【2回】</td> <td>1回【-※】</td> </tr> </table> * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合開催を中止。代わりに、「リスクコミュニケーション」のページに食中毒予防に関する動画等のリンクを掲載。 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催方法を見直し、オンライン開催された学園祭に参加	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	2回【2回】	0回*【2回】	1回【-※】	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター(CRDS)	上野 伸子	情報共有化に関して、コロナ禍であって、大学生を対象にした食の安全・安心ラボの開催として、鎌倉女子大学学園祭「オンラインみどり祭2021」オンライン開催に参加されたこと評価します。学生の反応についてお伺いしたい。	令和3年度の食の安全・安心ラボでは、オンライン開催された鎌倉女子大学学園祭ホームページの特設サイトに動画を掲載し、11月5日から3月末までアーカイブ配信を行いました。 動画掲載による参加であること、アンケートを実施していないことから、視聴した方の反応等は把握しておりません。今後は、アンケートの実施について、検討してまいります。	生活衛生課			
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】													
2回【2回】	0回*【2回】	1回【-※】													
23	P20 ク 食育の推進に関する施策と連携した情報提供【重点的取組み】（全庁的取組み） ○ 食育のための食品安全リーフレット「かながわの食品衛生for KIDS」をホームページに掲載し、県内の全小学校を対象に周知しました。 【食育のための食品安全リーフレットの発行】 <table border="1"> <tr> <td>2019年度実績【計画】</td> <td>令和2年度実績【計画】</td> <td>令和3年度実績【計画】</td> </tr> <tr> <td>県内の全小学校を対象に配布</td> <td>県内の全小学校を対象に配布</td> <td>県ホームページに掲載</td> </tr> <tr> <td>【県内の全小学校を対象に配布】</td> <td>【県内の全小学校を対象に配布】</td> <td>【県ホームページに掲載】</td> </tr> </table>	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	県内の全小学校を対象に配布	県内の全小学校を対象に配布	県ホームページに掲載	【県内の全小学校を対象に配布】	【県内の全小学校を対象に配布】	【県ホームページに掲載】	公募委員	眞鍋 邦子	食の安全の啓発を小学生や大学生を対象に方法を変えてやられていますが、啓発は一回やれば終わりということではありませんので、中学生も啓発対象にされたらよろしいのではないかと思います。特に小学生には、HPによる情報提供にとどまらず、環境授業の中に取り入れることもご検討なさったらいかがでしょうか。	ご意見のとおり、普及啓発は継続して行うことが重要です。昨年度はホームページへの掲載のみとしたリーフレットを、学校の現場から授業で活用するためにも配布物があつた方がよい旨のご意見をいただきましたので、今年度は配布を予定しております。また、当課ホームページに「かながわの食品衛生キッズページ」を設け、小学生以上を対象として、食中毒や表示に関する情報を掲載しています。 若い世代への啓発の方法については、今後も工夫を重ね、実施してまいります。	生活衛生課
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】													
県内の全小学校を対象に配布	県内の全小学校を対象に配布	県ホームページに掲載													
【県内の全小学校を対象に配布】	【県内の全小学校を対象に配布】	【県ホームページに掲載】													

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課																											
24	P18 イ 出前講座等の実施（全庁的取組み） ○ 食品表示、畜産物の安全性等「かながわの農林水産物の安全性」や、食中毒予防、食品検査等の「食品衛生」について情報提供し、理解を深めてもらうため、県民からの要望に応じて講師を派遣しました。（消費生活課、農業振興課、健康増進課、生活衛生課、衛生研究所） ◆ 開催回数 13回 ◆ テーマ ・食中毒予防について ・食中毒等事故発生時の対応について ・飲料水の安全性について など	公募委員	萩原 正	13回の開催において、どのような立場の方を対象にしたか定かではありませんが、今後の活動においては、未来の消費者・食品業者になる、小・中・大学等の学生を対象とした出前講座も検討しては如何でしょうか。	出前講座は要望に応じ、講師派遣しています。いまだ、集合方式での開催は難しい状況ですが、若い世代への啓発の方法については、今後も工夫を重ね、実施してまいります。	生活衛生課																											
25	P19 ウ 食の安全・安心に関する情報発信等【重点的取組み】（全庁的取組み） ○ 食の安全・安心に関する様々な情報を迅速かつ的確に共有するため、「かながわの食の安全・安心ホームページ」の内容の充実を図りました。 ◆ 更新回数 74回 【アクセス数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,881件</td> <td>43,083件</td> <td>17,009件</td> </tr> </tbody> </table>	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	29,881件	43,083件	17,009件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	食の安全安心に関する情報発信については、アクセス数が顕著に減少しています。単に関心が薄れたのか、ホームページでの閲覧がしにくくなった等、原因があればお教えてください。	当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取組みを進めてまいります。	生活衛生課																					
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																															
29,881件	43,083件	17,009件																															
26	P19 エ 小学生への食の安全・安心の情報提供【重点的取組み】（全庁的取組み） ○ 小学生を対象に、食品の安全性に関する情報について正しく理解し、考えることができるようにするため、小学生を対象としたホームページを開設しました。 【アクセス数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,585件</td> <td>4,785件</td> <td>2,498件</td> </tr> </tbody> </table>	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	5,585件	4,785件	2,498件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	小学生への安全・安心の情報提供については、アクセス数が顕著に減少しています。単に関心が薄れたのか、ホームページでの閲覧がしにくくなった等、原因があればお教えてください。	当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取組みを進めてまいります。	生活衛生課																					
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																															
5,585件	4,785件	2,498件																															
27	P20 オ 自主回収情報の公表等（生活衛生課） ○ 食品等の自主回収の情報について、食品関連事業者による情報提供を促進するとともに、条例に基づく自主回収の報告制度により報告を受けた自主回収情報を県民の皆さんへ迅速に分かりやすく提供しました。 なお、令和3年6月からは改正された食品衛生法及び食品表示法に創設された食品等リコール情報報告制度に基づき、国のホームページへの掲載に集約しました。 【条例に基づく自主回収情報の公表等】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">2019年度実績</th> <th colspan="3">令和2年度実績</th> <th colspan="3">令和3年度実績</th> </tr> <tr> <th>掲載回数</th> <th>更新回数</th> <th>アクセス数</th> <th>掲載回数</th> <th>更新回数</th> <th>アクセス数</th> <th>掲載回数</th> <th>更新回数</th> <th>アクセス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>188件</td> <td>129件</td> <td>56,824件</td> <td>223件</td> <td>142回</td> <td>54,792件</td> <td>39件</td> <td>31回</td> <td>21,752件</td> </tr> </tbody> </table>	2019年度実績			令和2年度実績			令和3年度実績			掲載回数	更新回数	アクセス数	掲載回数	更新回数	アクセス数	掲載回数	更新回数	アクセス数	188件	129件	56,824件	223件	142回	54,792件	39件	31回	21,752件	鎌倉女子大学	吉田 啓子	自主回収情報の公表等については、アクセス数が顕著に減少しています。単に関心が薄れたのか、ホームページでの閲覧がしにくくなった等、原因があればお教えてください。	当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取組みを進めてまいります。	生活衛生課
2019年度実績			令和2年度実績			令和3年度実績																											
掲載回数	更新回数	アクセス数	掲載回数	更新回数	アクセス数	掲載回数	更新回数	アクセス数																									
188件	129件	56,824件	223件	142回	54,792件	39件	31回	21,752件																									

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課
28	<p>P21</p> <p>シ 食中毒の注意喚起（生活衛生課）</p> <p>○ 食中毒の発生防止と衛生管理の向上を図るため、特に夏期はカンピロバクターをはじめ、腸管出血性大腸菌等細菌による食中毒が多発する恐れがあることから、食品関係業者及び消費者に対し、食品の安全性に関する情報提供等を実施する「食中毒予防週間」を定め、注意喚起しました。</p> <p>◆ 実施期間 令和3年8月2日から令和3年8月8日まで（8月1週目）</p> <p>◆ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予防啓発用のチラシ、資料等の作成、配布</li> <li>・ 食品関係団体に対する予防の徹底を通知及び講習会の実施</li> <li>・ 市町村広報紙等への注意喚起の記事の掲載</li> </ul>	公募委員	眞鍋 邦子	最近TVなどでアニサキスについての報道がされていますが、神奈川県として対策はどのようにされているのでしょうか。	食中毒予防について、営業者の方に対しては講習会や施設監視の際に、消費者の方に対してはホームページで注意喚起を行っています。特に、近年はアニサキスによる食中毒が増加していますので、県所管域内でアニサキスによる食中毒が発生するたびに、注意喚起の記者発表を行っています。	生活衛生課
29	<p>P18</p> <p>9 情報の共有化の推進（全般）</p>	鎌倉女子大学	吉田 啓子	<p>年々書き方を改良され、アクセス数などのデータも蓄積されて把握しやすくなっていると感謝しております。</p> <p>コロナ禍が長引いていることもあり、研修や意見交換の機会が減っていることも事実です。大学の授業等でも実感しているところですが、オンラインによって時期や時間を選ばず実施しやすくなり、広範囲に情報が周知できるメリットがあります。一方で対面方式で行うように深く印象に残らず素通りしてしまう、あるいは一方的な情報発信で終わってしまう傾向が見受けられます。</p> <p>特に、今までも話題に出てきておりましたが、小学校等で食育について文化や栄養面での推進が盛んにおこなわれてきていますが、食品の安全・安心に関しては学校に専門的知識や重要性に関する意識をしているスタッフが希少で、取り扱われていないか、間違った情報を伝承している現状から変わっていません。将来、リスクコミュニケーションに参加する一員として、消費者教育の一環にもなる食品表示の見方などを小・中の義務教育等でしっかりと身に着けてもらえるように働きかけていくことが重要と思っております。重点的取組みでもある「小学校への食の安全・安心の情報提供」として資料配布やホームページの掲載だけでなく、それらを利用してもらう仕掛けとして、市町村にも働きかけ、児童館等での子供向けの講座や若い世代を巻き込みYouTubeなど利用した動画作成など積極的に取り入れ、周知度を高めていく工夫に期待したいと思っております。</p>	<p>ご意見のとおり、小学生の頃から、食品の安全・安心に関する情報を正しく理解し、考えることができるよう、より広く分かりやすい情報提供を行っていくことは重要です。現在は、リーフレットの配布や当課ホームページに「かながわの食品衛生キッズページ」のページを設ける等の取組みを行っていますが、若い世代への啓発の方法については、今後も工夫を重ね、実施してまいります。</p>	生活衛生課
30		公募委員	萩原 正	食の安全・安心に関する情報発信等の重点的取組みとして、情報を提供しているホームページへのアクセス数やツイッター数、インプレッション数を報告されていますが、その数は令和2年度に比べ、概ね減少傾向にあります。コロナ禍の特殊事情を考慮したとしても、既存の情報発信方法の有効性を検証し、より必要としている人に、より効果的に、必要な情報が届く情報発信方法を再検討する時期に来ているのではないのでしょうか。	当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取組みを進めてまいります。	生活衛生課



No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課												
31		神奈川県消費者団体連絡会	柿本 章子	重点的取り組みのひとつである、「情報の共有化の推進について」コロナ禍の現状をかんがみ、集合開催などをみあわせ、ホームページの充実を図るなどにより情報発信および啓発をこころみたことは評価いたします。が、アクセス数が伸びていません。これからますますホームページやSNSなどを使った情報発信による共有化・啓発が重要になると考えます。なぜ、アクセス数が減ってしまったのか、などの理由を丁寧に解析していただき、今後活かしていただくことを希望いたします。	当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取り組みを進めてまいります。	生活衛生課												
32	P22 ア かながわ食の安全・安心キャラバンの開催【重点的取り組み】（生活衛生課） ○ 食の安全・安心の確保に関する県の施策のうち、県民の関心が高いテーマについて県民にわかりやすく情報提供し、意見交換するため、「かながわ食の安全・安心キャラバン」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催方法を見直し、集合開催に代わりホームページに資料等を掲載しました。 【アクセス数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,292件</td> <td>6,763件</td> <td>3,807件</td> </tr> </tbody> </table>	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	6,292件	6,763件	3,807件	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター(CRDS)	上野 伸子	関係者との意見交換の促進において、県民からの意見・提案の募集については、受付数0人、令和3年度実績では2,015件とのこと、アクセス数も減少傾向にあり、県民の食に対する意識を伺ううえでアンケートの実施は重要である。質問項目はその都度内容が異なるようであるが、どのような基準で決められているのだろうか。また、アンケート結果の表示について、平成29年の第1回にはグラフ表示もされており見やすかった。可能であれば、グラフ化、項目の降順表示をしていただけると分かりやすくなると思います。	アンケートの設問の半分は例年同じ内容を、残り半分はその時に話題になっている内容としています。アンケート結果のグラフですが、本県のホームページのシステムが変更になり、従前のようにグラフの掲載ができなくなりました。PDFファイル化したものを添付する等、分かりやすい情報提供に努めてまいります。	生活衛生課						
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																
6,292件	6,763件	3,807件																
33	イ e-かなネットアンケートを活用した意見募集（全庁的取り組み） ○ 食の安全・安心の確保に関して、e-かなネットアンケート等を実施し、結果を「かながわの食の安全・安心」ホームページに掲載します。 【e-かなネットアンケート等の実施】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績【計画】</th> <th>令和2年度実績【計画】</th> <th>令和3年度実績【計画】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回【2回】</td> <td>2回【2回】</td> <td>2回*【2回】</td> </tr> </tbody> </table> * 令和3年度は、e-かなネットアンケートが休止中のため、単独の電子申請によるインターネットアンケートを実施。 <b>◆ アンケートの内容 「食の安全・安心」</b> ウ 県民からの意見・提案の募集（全庁的取り組み） ○ 食の安全・安心の確保に関する県の施策について、意見や提案を随時受け付けています。 【アクセス数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2019年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,969件</td> <td>4,682件</td> <td>2,015件</td> </tr> </tbody> </table>	2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】	2回【2回】	2回【2回】	2回*【2回】	2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	4,969件	4,682件	2,015件	神奈川県漁業協同組合連合会	鶴飼 俊行	令和3年度の行動計画の実施項目の進捗状況が53%であったとのことですが、コロナ禍によって、さまざま行動制限を受けている中、やむを得ないものと考えます。一方、重点的取り組みでもあります「かながわ食の安全・安心キャラバン」がホームページ上での情報提供のみとなったことは感染防止上とは言え残念なことと思います。県民の反応や関心が直接把握出来る良い機会であり、施策にも反映できるものと思います。令和3年度は「かながわ食の安全・安心キャラバン」のHP閲覧アクセス数を始め、「県民からの意見・提案の募集」のアクセス数がこれまでの実績のほぼ半減になっていることも気になります。一方的な情報提供とならないよう、かつマンネリ化しないような何か工夫が出来たら良いと思います。	かながわ食の安全・安心キャラバンは、県民の皆さんへ食の安全・安心に関する情報提供を行うとともに、ご意見をいただき、食の安全・安心の確保に関する施策への参考としている事業です。今年度はホームページ等を活用した情報共有の方法等を検討してまいります。なお、当課のページのアクセス数減少の要因は不明ですが、本県のホームページを管理する部署に確認したところ、新型コロナウイルス感染症関係を除く多くのページが、アクセス数の減少傾向にあるとのことでした。今後も検索しやすい掲載方法の見直しやホームページの周知等、アクセス数の増加に向けた取り組みを進めてまいります。	生活衛生課
2019年度実績【計画】	令和2年度実績【計画】	令和3年度実績【計画】																
2回【2回】	2回【2回】	2回*【2回】																
2019年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																
4,969件	4,682件	2,015件																
34	全般	特定非営利活動法人 神奈川県消費者の会連絡会	矢野 裕美	全体を通して、新型コロナウイルス感染症拡大防止を理由に立入検査を制限したり、一部中止としたという記述が目立ちますが、今後もコロナ禍が続くことは容易に想定しうるので、コロナ禍であっても、万全な感染対策のもと、検査を実施しうる環境を作り、【計画】を実施すべきと考えます。	新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くことが想定されますので、コロナ禍であっても実施可能な内容を検討する等、事業の継続に向けて工夫してまいります。	生活衛生課												
35	全般	神奈川新聞社	秋山 理砂	意見等なし	—	—												
36	全般	公益社団法人 神奈川県医師会	磯崎 哲男	意見等なし	—	—												

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課
37	全般	イオンリテール株式会社 南関東カンパニー	小嶋 昇一	意見等なし	—	—
38	全般	一般社団法人 神奈川県畜産会	橋本 聡	<p>食品の安全性に関しては生産段階、食品処理段階、販売段階、加工調理段階、そして消費段階とあらゆる段階での管理が適正にされることで消費者（県民）の皆様が安全で安心な食品が提供できると思います。食品安全の基礎となる各種モニタリング検査の実施や事業者への指導、研修等引き続き宜しくお願い致します。</p> <p>また、フードチェーンの川上に位置する生産段階で使用される医薬品やホルモン剤、農薬等の食品への残留は人への影響も懸念されている中で、今後とも食品原料となる生産物等への使用基準の指導や安全性のモニタリング検査等により県内生産物が安全で県民の皆様が安心して食べて頂けるような取り組みを宜しくお願い致します。</p>	—	—
39	全般	公益社団法人 神奈川県食品衛生協会	花田 亮	<p>組合一斉検査の際の食品衛生指導員による巡回指導については、今後も引き続き、保健所の監視員に同行していただきご指導、ご助言をくださるようお願いいたします。</p>	—	—
40	全般	神奈川県消費者団体連絡会	柿本 章子	<p>『実施結果のまとめ』にアクセス等の実績を記載していただいたことにより、経時的な変化の確認が容易になりましたことを評価いたします。</p>	—	—
41	全般	公募委員	山口 重久	<p>令和3年度版・実施結果全般については、過年度から引き続き、指針や行動計画に基づき適正に実施・対応されていることがわかりました。特に、コロナ禍で不自由な状況下での取り組みに感謝いたします。</p>	—	—

●資料2 臨時営業について

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課
1	2 臨時営業の対象行事 実施主体（国、地方公共団体、法人又は団体）が一定の目的をもって開催する以下に例示する行事で、開催期間が概ね1か月程度を超えない一時的である行事が対象となります。 (1) 神社・仏閣の縁日・祭礼 (2) 地域や産業の活性化を目的とした行事 (3) 復興支援や慈善活動を目的とした行事 (4) 国際交流を目的とした行事 (5) スポーツ・音楽・演芸等の興行・公演 (6) フードフェスティバル (7) その他これに類する行事	特定非営利活動法人 神奈川県消費者の会 連絡会	矢野 裕美	実施主体に関し、なぜ、個人を除外しているのでしょうか。特に、(1) 神社・仏閣の縁日・祭礼 の場合、主体が個人であることが多いと思いますが、食品衛生法に基づく営業の施設基準に関する条例の趣旨を考えると、個人と団体を分ける意味が明確ではないと思います。	食品衛生法に基づく営業の施設基準等に関する条例の規定では、臨時営業は、臨時的な行事に付随した営業である必要があります。個人が実施主体の行事の場合、公道や私有地で行事に付随せず営業している場合との区別が困難であることから、実施主体から個人を除外しています。	生活衛生課
2	全般	相模女子大学	下島 優香子	営業中の指導とはどのような方法で行われるのでしょうか。 また、2018年食品衛生法改正を機に、臨時営業について許可制度を開始した自治体はどのくらいの割合なのでしょう。	保健福祉事務所等の食品衛生監視員が行事の会場に出向き、屋台等での食品の取扱状況等を確認することとしています。 また、多くの自治体が、2018年食品衛生法改正以前から臨時営業と同様の許可制度を設けており、2021年の改正法施行後に本県を含めた4自治体が新たに許可制度を開始しています。	生活衛生課
3	全般	鎌倉女子大学	吉田 啓子	ホームページでは臨時営業（屋台型、簡易固定型）、臨時出店、模擬点等の分類で説明されていますが、臨時出店を今後は臨時営業に含める（あるいは営業許可に関して同等に扱う）という理解でよろしいのでしょうか。	臨時的な行事に付随して、仮設の店舗において簡易な調理・加工をする場合のうち、営業に該当するものを「臨時営業」、営業とみなさないものを「臨時出店」と規定しています。営業の該当性の判断は、行事の内容や期間等をもとに、県内各自治体が行います。現在のところ、臨時出店の制度を臨時営業に含める予定はありませんが、臨時営業に準じた衛生指導等を行ってまいります。	生活衛生課
4	全般	公益社団法人 神奈川県食品衛生協会	花田 亮	飲食店営業の許可を有する固定店舗が、祭等の際に許可を取得している調理場以外の軒先などに簡易な調理施設を設け、焼きそば・焼き鳥等の軽食を調理し提供したい場合は、新たに臨時営業の許可が必要となりますか。	県所管域の場合、飲食店営業の許可を有する固定店舗が年間に複数回出店する場合等、新たに臨時営業の許可が必要となりことがあります。個別の事例については、出店場所を所管する保健福祉事務所等に御相談ください。	生活衛生課
5	全般	神奈川県消費者団体連絡会	柿本 章子	新型コロナウイルス感染症が蔓延中であり、運用開始直後ではありますが、申請の実数などを知りたいです。 新型コロナウイルス感染症の収束の折には、臨時営業の対象行事において、コロナ禍以前にも増して多様な開催方法が広がることが考えられます。臨時営業許可制度の効果的な周知の方法・スムーズな運用の工夫及び体制の強化などの具体的な施策はありますか。	令和4年7月時点で、県内に約700件の屋台型臨時営業の許可施設があります。 臨時営業許可制度の周知等については、ホームページでの周知の他、保健福祉事務所等の窓口で相談を受けた主催者等を通じて、必要な情報提供を行っています。	生活衛生課
6	全般	公募委員	眞鍋 邦子	臨時営業の対象行事と一か月程度の期間がありますが、いわゆるお祭りやイベントは、数日から1～2週間程度がほとんどかと思われます。このような短期の営業について許可をした後どのように監視されているのでしょうか。	臨時営業施設の監視指導について、原則として、保健福祉事務所等の食品衛生監視員が行事の会場に出向き、屋台等での食品の取扱状況等を確認することとしています。	生活衛生課
7	全般	神奈川新聞社	秋山 理砂	質問なし	—	—
8	全般	公益社団法人 神奈川県医師会	磯崎 哲男	質問なし	—	—

No	該当箇所	所属	委員	意見・質問等	回答	担当課
9	全般	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究開発戦略センター(CRDS)	上野 伸子	質問なし	—	—
10	全般	国立大学法人東京海洋大学	木村 凡	質問なし	—	—
11	全般	神奈川県漁業協同組合連合会	鵜飼 俊行	質問なし	—	—
12	全般	イオンリテール株式会社南関東カンパニー	小嶋 昇一	質問なし	—	—
13	全般	一般社団法人神奈川県畜産会	橋本 聡	質問なし	—	—
14	全般	神奈川県農業協同組合中央会	由良 竜一	質問なし	—	—
15	全般	公募委員	萩原 正	改正食品衛生法の施行に伴い、営業許可業種の見直しや営業届出制度の創設が行われた中で、屋台営業だけではなく、キッチンカー等を含む多様な臨時営業者に対しても許可制度を運用し、施設基準への適合を確実にするばかりでなく、行政が営業者とアクセス可能な状況を実現することが、食の安全を確保する上で不可欠な流れと考えます。臨時営業者の中には、“手続きの煩雑感”を感じる事業者もいることと思いますが、制度の趣旨や目的を理解いただくための周知の取り組みも、今後の活動の中で検討いただければと思います。	—	—
16	全般	公募委員	山口 重久	適時適正な運用を期待しております。	—	—